

第8回日本子ども虐待医学会学術集会 タイムテーブル

2016/6/29 版

【プレコングレス】

2016年7月22日（金）

福岡大学病院 地下1階 多目的室1・2

15:00-16:00 BEAMS Stage 1

16:15-17:45 BEAMS Stage 2

「事例検討会：4題」 18:00-20:30

座長 山田 不二子（認定NPO法人チャイルドファーストジャパン：内科）

座長 田崎 みどり（横浜中央児童相談所：児童精神科）

1. 18:00-18:35

入院中に発症した急性硬膜下血腫の乳児の1例 -事例からみえてきた課題と対策-

山本 千晴 九州大学病院：看護部

2. 18:35-19:10

一時保護委託下での入院中に家族が他県に転居してしまい対応に難渋している shaken baby syndrome の男児例

本間 あおい 土浦協同病院：小児科

3. 19:20-19:55

虐待による腭仮性嚢胞の1例～加害者である母親への長期的展望に立った関わり

西崎 眞理 松山赤十字病院成育医療センター小児科部門：小児科

4. 19:55-20:30

性虐待の被害経験がある妊婦への支援

渥美 貴子 大阪府立母子保健総合医療センター 母性中央部：看護部

【第8回日本子ども虐待医学会学術集会】

2016年7月23日(土)

福岡大学病院 福大メディカルホール

8:55-9:00 開会挨拶

「里親・特定妊婦・早産：5題」 9:00-10:15

座長 田口 めぐみ (横浜市南部児童相談所：小児科)

座長 福田 育美 (国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター：MSW)

1. 9:00-9:15

当院で経験した新生児里親委託の実際

八坂 知美 済生会福岡総合病院：小児科

2. 9:15-9:30

当院における特定妊婦の状況とその出生児の転帰

酒井 さやか 飯塚病院：小児科 9:15-9:30

3. 9:30-9:45

里親制度を支援するためのシステム構築

宮田 郁 大阪医科大学附属病院：看護部

4. 9:45-10:00

ネグレクトの発見が遅れたSGA(small for gestational age)児の2例

足立 晋介 市立福知山市民病院：小児科

5. 10:00-10:15

虐待防止の視点から後期早産児と育児不安の関連性を考える

勝連 啓介 社会福祉法人五和会 名護療育医療センター：小児科

「スクリーニング：4題」 10:15-11:15

座長 安 炳文 (京都府立医科大学：救急医療)

座長 小川 厚 (福岡大学筑紫病院：小児科)

6. 10:15-10:30

当院での救急外来における児童虐待スクリーニングの取り組み

梶間 理人 中国労災病院：小児科

7. 10:30-10:45

こども虐待の早期発見・予防を目的としたスクリーニングシートの試用と課題

荒田 弘樹 九州大学病院：看護部

8. 10:45-11:00

当センター開院後1年間に救命救急センターを受診した小児外傷患者の実態調査

川崎 英史 兵庫県立尼崎総合医療センター：小児科

9. 11:00-11:15

体重増加と頭囲拡大の不均衡は虐待による頭部外傷発見の契機となる

古瀬 優太 釧路赤十字病院：小児科

11:15-12:45 特別講演 1

「法医学から小児虐待を考える：損傷の診方から死因究明制度まで」

講師 久保 真一（福岡大学医学部法医学教室 教授：法医学）

座長 小川 厚（福岡大学筑紫病院：小児科）

12:45-13:30 休憩（理事会：2階 同窓会ラウンジ）

「心理・その他：4題」 13:30-14:30

座長 勝連 啓介（社会福祉法人五和会 名護療育医療センター：小児科）

座長 古田 洋子（埼玉県児童相談所：児童精神科）

10. 13:30-13:45

反応性愛着障害児における報酬機能不全

滝口 慎一郎 福井大学医学部付属病院子どものこころ診療部：小児科

11. 13:45-14:00

両親間暴力の子どもへの影響について

大橋 洋綱 筑波大学大学院人間総合科学研究科：小児科

12. 14:00-14:15

アレルギー疾患などの慢性疾患児診療における院内虐待チーム(CPT)活動

本村 知華子 国立病院機構福岡病院：小児科

13. 14:15-14:30

舌喉頭矯正術前後の乳児啼泣音声分析

山本 伊佐夫 神奈川歯科大学災害医療歯科学講座法医学歯科学：歯科

「連携：6題」 14:30-16:00

座長 小橋 孝介（松戸市立病院：小児科）

座長 古瀬 優太（釧路赤十字病院：小児科）

14. 14:30-14:45

当院における児童虐待防止委員会の活動、定例連絡会を通じたの行政とのつながり

山本 英一 愛媛県立中央病院：小児科

15. 14:45-15:00

子ども虐待の多機関・多職種による事例検討会

田崎 みどり 横浜市中心児童相談所：児童精神科

16. 15:00-15:15

診療所の小児科医にとって児童虐待とは ～児童虐待防止ネットワーク構築に向けて～
毎原 敏郎 兵庫県立尼崎総合医療センター：小児科

17. 15:15-15:30

虐待防止拠点病院としての情報共有化への取り組み
大矢 崇志 飯塚病院：小児科

18. 15:30-15:45

広島県における多機関連携の取り組み
小西 央郎 独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院：小児科

19. 15:45-16:00

子ども虐待の多機関連携における「虐待認定」の後方視的検討
福田 育美 四国こどもとおとなの医療センター 育児支援対策室：MSW

パネルディスカッション1 16:10-18:00

「児童虐待防止医療ネットワーク事業の現状と課題」

座長 市川 光太郎（北九州市立八幡病院：小児科）

座長 三平 元 （松戸市立病院小児医療センター：小児科）

16:10-16:30

基調講演「我が国における児童虐待対策」
竹内 尚也 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課 虐待防止対策推進室長

16:40-16:50

児童虐待防止医療ネットワーク事業について
三平 元 松戸市立病院小児医療センター：小児科

16:50-17:00

児童虐待防止医療ネットワークの拠点病院の役割
大矢 崇志 飯塚病院：小児科

17:00-17:10

聖マリア病院における現状と課題
秋田 幸大 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院：小児科

17:10-17:20

北九州市立八幡病院における「児童虐待防止医療ネットワーク事業」の取り組みと課題
神薊 淳司 北九州市立八幡病院 小児救急センター：小児科

17:20-17:30

福岡市児童虐待防止医療ネットワーク拠点病院としての現状と課題
松本 佑佳里 福岡大学病院：看護部

17:30-18:00

ディスカッション

2016年7月24日(日)

福岡大学病院 福大メディカルホール

「CDR・CPT：6題」 8:45-10:15

座長 溝口 史剛(前橋赤十字病院：小児科)

座長 佐藤 厚夫(横浜労災病院：小児科)

20. 8:45-9:00

虐待通告担当医と外来フォロー医の役割分担について：当科の試み

鶴澤 礼実 福岡大学筑紫病院：小児科

21. 9:00-9:15

千葉大学附属法医学教育研究センター、臨床法医学部門の取り組み

千葉 文子 東京大学・千葉大学法医学：法医学

22. 9:15-9:30

当院の小児死亡統計の検討 -Child Death Review の観点から-

齋藤 直樹 千葉大学大学院医学研究院小児病態学、千葉大学附属法医学教育研究センター：
法医学

23. 9:30-9:45

当院における小児死亡検証の現状 ～不詳死の検索状況の把握について～

仙田 昌義 総合病院国保旭中央病院：小児科

24. 9:45-10:00

院内虐待対応組織(Child Protection Team: CPT)全国調査結果

田上 幸治 神奈川県立こども医療センター：総合診療科

25. 10:00-10:15

虐待通告の必要性を議論した症例への当院虐待防止委員会の対応

起塚 庸 高槻病院：集中治療科

「診断：6題」 10:15-11:45

座長 小熊 栄二(埼玉県立小児医療センター：放射線科)

座長 田上 幸治(神奈川県立こども医療センター：総合診療科)

26. 10:15-10:30

思春期前に性器出血を主訴として小児科を受診した4例の検討

栗原 八千代 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院：小児科

27. 10:30-10:45

虐待による肋骨骨折の診断におけるCT検査の有用性

横井 広道 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター：小児整形外科

28. 10:45-11:00

特殊波長光線による陳旧打撲傷の可視化 ～紫外線は本当に有効なのか？～

美作 宗太郎 秋田大学大学院医学系研究科法医学講座：法医学

29. 11:00-11:15

多機関連携チーム(MDT)で取り組んだ2症例

木下 あゆみ 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター：小児科

30. 11:15-11:30

児の薬物スクリーニングで Amphetamine が検出され、母親の覚醒剤使用が発覚した一例

楠元 真由美 兵庫県立こども病院：救急総合診療科

31. 11:30-11:45

自ら飛び降りたと考えられる両側踵骨骨折の一例

内ヶ崎 西作 日本大学医学部社会医学系法医学分野：法医学

11:45-12:45 休憩（定時代議員総会）

12:45-13:45 特別講演 2

「子ども虐待対応における小児医療の原点とは？」

講師 市川 光太郎（北九州市立八幡病院 院長：小児科）

座長 田崎 みどり（横浜中央児童相談所：児童精神科）

パネルディスカッション 2 13:45-15:00

「小規模市町村における子ども虐待予防活動」

座長 井上 登生（医療法人井上小児科医院：小児科）

13:45-13:50

話題提供： 井上 登生 中津市要保護児童対策地域協議会副会長：小児科

13:50-14:05

高橋 絵美 中津市地域医療対策課：保健師

14:05-14:20

上村 祥子 中津市子育て支援課：保健師

14:20-14:35

古屋 康博 児童家庭支援センター「和」：ケースワーカー

14:35-14:45

まとめ： 井上 登生

14:45-15:00

ディスカッション

15:00 閉会

【AHT 研究部 第1回シンポジウム】 15:15-17:45

第一部

座長 長嶋 達也
座長 美作 宗太郎

1. 15:15-15:20

医療機関における、虐待死の可能性のある死亡事例の実態 ～アンケート調査より～
溝口 史剛 群馬県前橋赤十字病院：小児科

2. 15:20-15:35

児童虐待事案における刑事手続の流れ
石垣 光雄 福岡地検小倉支部：検察官検事

第二部

座長 小熊 栄二
座長 山田 不二子

3. 15:35-16:20

模擬事例1 症例提示：山崎 麻美
指定発言者：相田 典子
16:20-16:35 検察官検事コメント：白井 美果（東京地方検察庁）

4. 16:35-17:20

模擬事例2 症例提示：山崎 麻美
指定発言者：相田 典子
17:20-17:35 検察官検事コメント：白井 美果

5. 17:35-17:45

コメント 佐々木 洋二郎（最高検察庁 刑事政策推進室）

※なお、当シンポジウムは日本子ども虐待医学会正会員限定、完全事前登録制となります。